

## 令和3年度第3回狭山市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和4年3月28日(木) 午後2時00分～午後4時00分

開催場所 狭山市役所6階 602～604会議室

出席者 吉田委員(会長)、坂本委員(副会長)、関根康洋委員、藤原委員、関口委員、吉田委員、指田委員、栗原委員、原田委員、鳥山委員、高橋委員、荻谷委員、清家委員、小河委員、伊藤委員、梅田委員、中畠委員、滝嶋委員、神田委員、西澤委員、田中委員 (21名)

欠席者 関根肇委員、高原委員、福永委員、山戸委員 (4名)

代理出席者 関根肇委員の代理：金川氏

高原委員の代理：藤田氏

事務局 村井市民部長、濱田市民部次長、吉村交通防犯課公共交通担当課長、堀越主査

傍聴者数 5名

議題等

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書(案)について

(2) 狭山市地域公共交通計画の策定に向けて

(3) その他

4. 閉会

## 会議の経過、質疑等の内容

### 1. 会長あいさつ

### 2. 会議の成立及び会議の公開の確認

委員総数25名のところ、委員本人の出席が21名、代理出席者2名の合計23名が出席していることから、会議が成立していることを確認するとともに、会議は、「狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書(案)」に係る協議と意見交換が中心となることから、原則どおり公開することが決定された。

以下、吉田会長が議長となり、議事を進行した。

## 協議事項(1) 狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書(案)について

### <概要>

事務局より資料1、資料1-2について説明を行い、総員賛成で狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書(案)が承認された。

また、ほりかね交通会議の吉田会長、ほりかねデマンド・ラボの前原会長より、これまでの取組内容、今後の取組の方向性などの報告を行った。

### <質疑>

委員 ある程度自立した障がい者が一人で利用する場合、サポートを受けられるか？

事務局 可能な限り利用者に寄り添った運行をするよう、交通事業者と協議していきます。

委員 車椅子の利用者をサポートしてくれるのか？

事務局 身体的な介助は行えないため、基本的には介助者と同乗していただくことを想定していますが、車椅子の収納は可能な限り補助していきたいと考えています。

議長 車椅子の利用者であるといった情報は、事前予約の段階で把握するのか？

事務局 事前に利用者登録が必要となるので、登録の際にそうした情報も提供いただきたいと考えています。

委員 使い勝手の良さやわかりやすい仕組み作りが大切で、周知PRや利用促進が非常に重要になると思う。自治会や公民館などを通じた展開など、地域できめ細かく対応して欲しい。

事務局 地域と市とで連携しながら取り組んでいきます。

## 報告事項（１）狭山市地域公共交通計画の策定に向けて

### <概要>

事務局より資料２について説明を行った。

### <質疑>

議長 近隣市の策定状況は？

事務局 入間市は平成２８年１２月策定済、飯能市は平成３０年３月策定済、所沢市は令和５年３月策定予定となっています。

委員 持続可能な公共交通ネットワークとはどういったイメージなのか？

事務局 地域の実情と交通課題に対応し、公共交通の役割分担と連携を図ることで、公共交通を維持・確保していくことを考えています。

委員 茶の花号の検証も必要ではないか？

事務局 令和４年度に計画の策定方針やスケジュールをまとめていく中で、茶の花号の検証についても検討していきたいと考えています。

委員 策定期間が長い印象があるが、どういった予定なのか？

事務局 令和４年度に策定方針やスケジュールをまとめていくこととしており、デマンドバス実証運行の評価・検証や茶の花号の検証も含めて計画を策定していくことから、３年間の策定期間を予定しています。

～ 副会長挨拶により閉会 ～

### 配布資料等一覧

- 次第
- 座席表
- 狭山市地域公共交通会議委員名簿
- 資料１ 狭山市堀兼地区デマンドバス実証運行計画書（案）
- 資料１－２ デマンドバス車両デザイン
- 資料２ 狭山市地域公共交通計画の策定に向けて